



2020年9月10日

各 位

上場会社名 株式会社東京ドーム
 代表者 代表取締役社長 長岡 勤
 (コード番号 9681)
 問合せ先責任者 財務部長 大野 幸男
 (TEL 03-3811-2111)

通期業績予想の公表に関するお知らせ

2020年6月11日に公表いたしました「2021年1月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年1月期通期(2020年2月1日～2021年1月31日)の連結業績予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

2021年1月期通期連結業績予想数値(2020年2月1日～2021年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	—	—	—	—	—
今回予想(B)	39,000	△13,000	△15,000	△18,000	△195 00
増減額(B)-(A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年1月期)	91,557	11,728	10,669	8,002	86 70

●連結業績予想公表の理由

当社が「2021年1月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」を公表した2020年6月11日時点においては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難であるとの判断から、2021年1月期通期の連結業績予想を未定としておりました。現時点においても新型コロナウイルス感染症の収束時期は見通せない状況が続いておりますが、緊急事態宣言解除後、各自治体の方針に基づき十分な感染症予防対策を実施した上で当社グループ施設も順次営業を再開しており、東京ドームでは段階的ではありますが観客を入れたプロ野球の開催ははじまりましたので、当第2四半期連結累計期間における状況、並びに現時点で入手しております将来予測情報等を踏まえ算定いたしました連結業績予想を公表いたします。

当第2四半期連結累計期間において、当初は新型コロナウイルス感染症の拡大予防のための緊急事態宣言発令により、イベントの中止や延期、営業施設の休業が相次ぎました。また緊急事態宣言解除後は、各自治体の方針に基づき十分な感染症予防対策を実施した上で順次営業を再開しているものの、営業時間の短縮を各施設で実施し、さらに東京ドームでのプロ野球公式戦においては、当初は無観客での開催、現時点でも観客5,000人を上限とした開催が継続されており、当社グループの売上高が前年同四半期比62.5%減と大幅に減少する等、企業運営に甚大な影響を与えております。今後も当該感染症の拡大防止の観点による事業活動への制約や、東京ドームにおける観客入場者数の制限の継続、また景気動向の悪化による一般消費者の消費活動の萎縮等による売上高の大幅な減少が見込まれ、依然として予断を許さない状況が続くと思われまます。当社グループとしては、お客様の安全・安心な環境を保持し、感染予防を意識した新しい商品、サービスを提供していくことで売上高の確保に努め、経営成績等の状況に与える影響を最小限にしていまいります。

本連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症の再拡大による再度の大規模な営業自粛要請や経済活動の停滞については想定しておらず、実際の業績等は大きく異なる可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合は、速やかに業績への影響をお知らせいたします。

なお、配当予想につきましては、上記連結業績予想を踏まえ、安定配当の12円を見込んでおります。

以 上